

# 「主体的・対話的で深い学び」につながる単元構成

## 見通し・振り返りがしやすい構成で「指導と評価の一体化」を支援

章・節を単元のまとまりとし、学習の見通し・振り返りがしやすい構成にしています。学習の見通し・振り返りを通して、学習者は「主体的・対話的で深い学び」を、指導者は「指導と評価の一体化」を実現できるようにしています。

章・節の展開 知・技 …知識・技能 思・判・表 …思考・判断・表現 主 …主体的に学習に取り組む態度

### 見通し

### 学習活動

### 振り返り

#### 「部扉」・「学習の前に」 主

部の冒頭には「部扉」「学習の前に」を設置しています。大きなイラストから、社会のさまざまな場面を概観する学習活動を通して、学習する内容に対する興味・関心を高め、学習の見通しを立てることができます。これにより、「主体的な学び」を実現できるようにしています。

#### 章・節の問い

単元のはじめには「章・節の問い」を設置しています。「単元を貫く問い」を明示することで、見通しをもって学習に取り組めるようにしています。

#### 学習課題

各見開きに「節の問い」に対応した「学習課題」を設置しています。

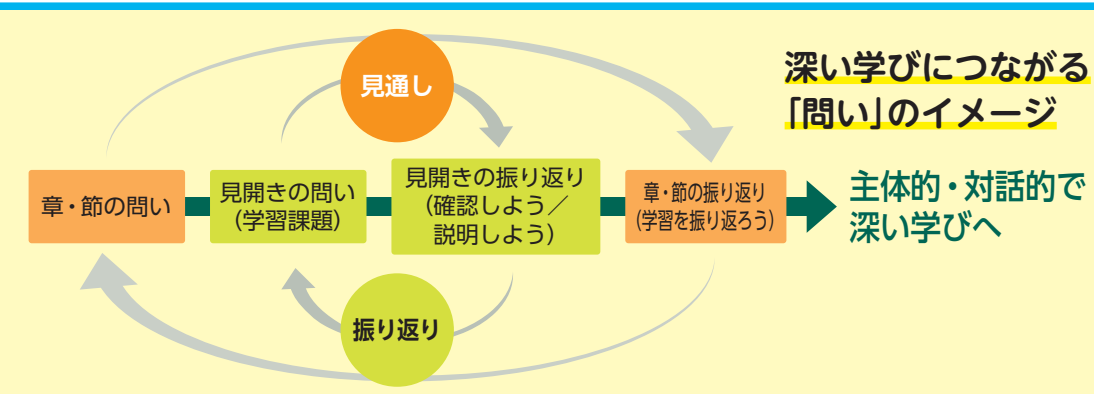
#### 確認しよう/説明しよう

各見開きに「学習課題」に対応した「確認しよう/説明しよう」を設置しています。

#### 学習を振り返ろう

知・技 思・判・表 主

章末には「学習を振り返ろう」を設置しています。思考ツールを活用しながら対話を通して、「章・節の問い」に取り組むことで、「対話的な学び」や「深い学び」を実現できるようにしています。



問いの種類	観点別評価への対応		
	知	思・判・表	主
章・節の問い	○	○	○
学習課題	○	○	
確認しよう	○		
説明しよう	○	○	

#### 【例】第3部「経済」(p.116-117)



↑p.115



↑p.116-117

詳しくは本資料p.22

#### 小・地・歴アイコン

#### 小学校・地理・歴史・他教科との関連

NEW

#### 小地歴

小学校・地理・歴史・他教科との関連 生産、販売(小)

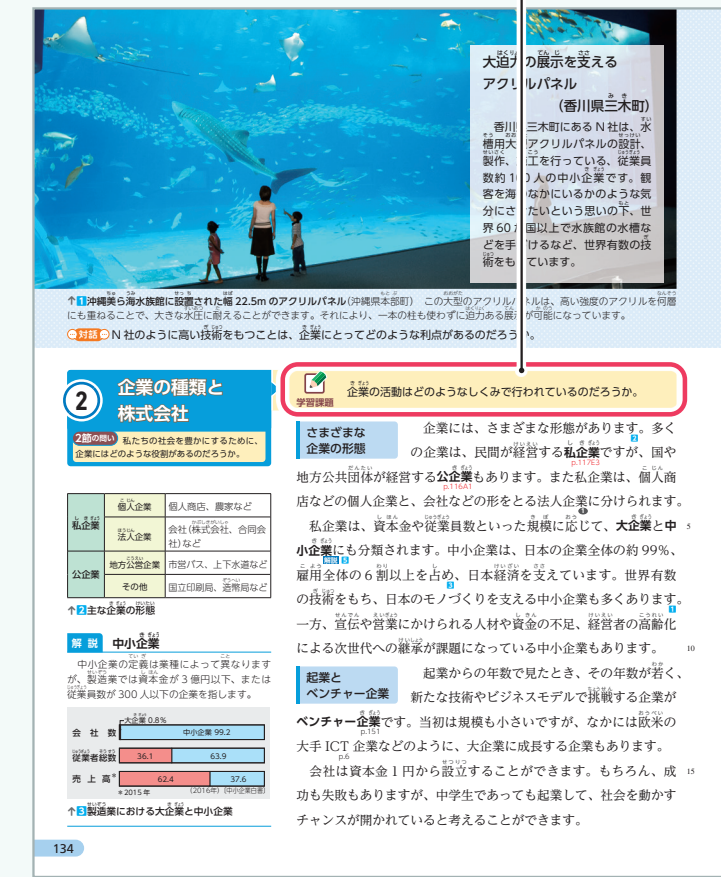
小学校での学習や、他分野・他教科との関連のある題材を示し、物事を多面的・多角的に捉える足がかりとなるようにしています。また、分野間・教科間でのカリキュラム・マネジメントを実施する指標となるようにしています。

#### ポイント

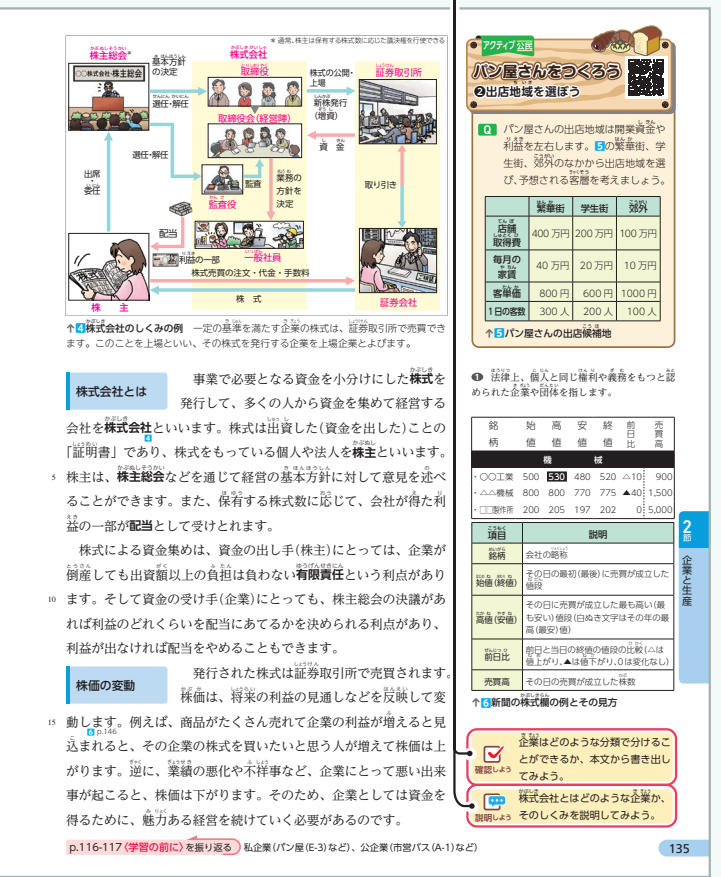
右のイメージのように、「章・節の問い」を受けた「学習課題」を各見開きに設置し、見通し・振り返り学習を積み重ねることで、「章・節の問い」にせまれるよう、「問い」を構造化しています。また、各問いの役割と関連を明確にしているため、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の3つの資質・能力を着実に習得・育成でき、それぞれの観点別評価を適切に行えるようになっています。「章・節の問い」に取り組むことで、習得した「知能・技能」やそれを活用した「思考・判断・表現」を評価できるようにしています。また、単元を通した見通しと振り返りによって、自らの学びを調整し、粘り強く取り組む「主体的に学習に取り組む態度」を見取ることができるようにしています。



↑p.132



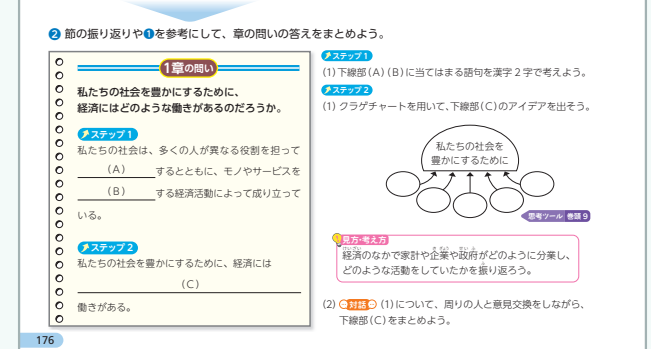
↑p.134-135



詳しくは本資料p.23~24

#### 3部1章(p.116~180) 経済活動と私たち

↑p.174



↑p.176

詳しくは本資料p.25~26



# 特色 3 「主体的・対話的で深い学び」につながる単元構成

見通し・振り返りがしやすい構成で「指導と評価の一体化」を支援

## 「部扉」・「学習の前に」

### 導入資料

部扉にはその部の学習に関連した写真を掲載しています。「学習の前に」では、イラスト絵図を掲載して、学習内容を俯瞰できるようにしています。

### NEW

各部の冒頭に「部扉」を設置し、その部で学習する内容に関連した社会科3分野の写真と、小学校の既習事項を掲載しています。

### NEW

「学習の前に」の紙面に「章の問い」を掲載し、「見通し・振り返り学習」に活用できるようにしています。

1章の問い 私たちの社会を豊かにするために、経済にはどのような働きがあるのだろうか。

▶▶▶ p.176で



p.115

## 学習の前に 3部1章 (p.116~180) 暮らしのなかから経済を探してみよう

TRY1 次のイラストは、「はるの市」の「果物地区」の商店の様子です。たくさんの人たちが買い物したり、働いたりしています。イラストを見ながら、経済が私たちの暮らしとどのように関わっているかを考え、書きましょう。



p.116-117

導入の「部扉」・「学習の前に」を活用し、見通しを立てて学習を進めていくことで、「主体的な学び」を実現できるようにしています。各見開きでも見通し・振り返り学習がしやすい紙面構成になっています。各見開きの学習内容は、「章・節の問い」を受ける形で「学習課題」を設置し、展開しています。

## 見開き 知・技 思・判・表

### 導入資料

見開きの学習内容の核心をつき、かつ、生徒に「なぜ」を抱かせる資料を掲載しています。

p.134-135



↑p.134-135  
↑1 沖縄美ら海水族館に設置された幅 22.5mのアクリルパネル(沖縄県本部町) この大型のアクリルパネルは、高い強度のアクリルを何層にも重ねることで、大きな水圧に耐えることができます。それにより、一本の柱も使わずに迫力ある展示が可能になっています。  
○対話 N社のように高い技術をもつことは、企業にとってどのような利点があるのだろうか。

### 学習課題

見開きの学習でおさえるべき目標を示しています。本時の学習内容を見通す問いです。

## 2 企業の種類と株式会社

2節の問い 私たちの社会を豊かにするために、企業にはどのような役割があるのだろうか。

個人企業	個人商店、農家など
私企業	会社(株式会社、合同会社)など
公企業	地方公営企業 市営バス、上下水道など その他 国立印刷局、造幣局など

### 解説 中小企業

中小企業の定義は業種によって異なりますが、製造業では資本金が3億円以下、または従業員数が300人以下の企業を指します。

大企業	0.8%
中小企業	99.2%
会社数	36.1
従業員総数	63.9
売上高*	62.4
	37.6

\*2015年 (2016年) (中小企業白書)

↑3 製造業における大企業と中小企業

### 章・節の問い

「章・節の問い」を、各ページのタイトル下にも掲載しています。「単元を貫く問い」である「章・節の問い」を常に意識して学習に取り組めるようにしています。

### 解説

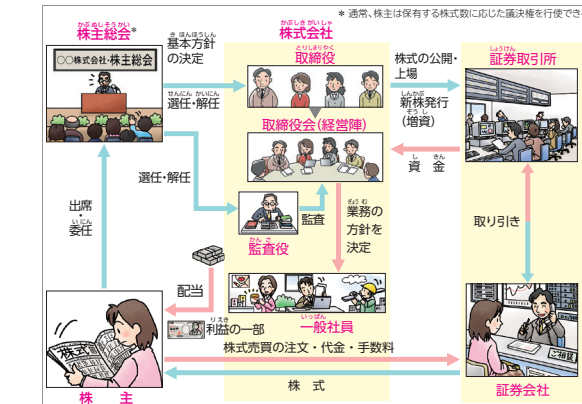
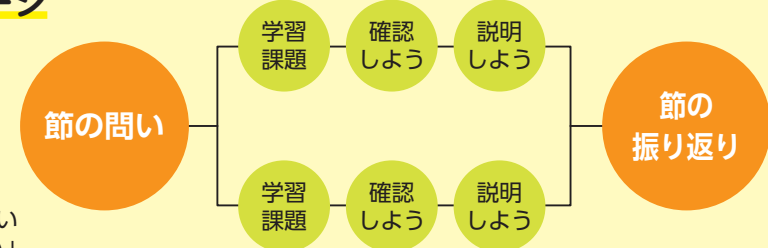
知識定着を図るための一助として、用語の「解説」を全38か所に設置しています。

## ポイント

### 「節の問い」と見開きの「問い」関係イメージ

各見開きの「学習課題」「確認しよう」「説明しよう」でつかんだ学習内容の積み重ねが「節の問い」の追究につながるようにしています。

→ 「節(章)の問い」と各見開きの「問い(学習課題・確認しよう・説明しよう)」の関係のイメージ



↑4 株式会社のしくみの例 一定の基準を満たす企業の株式は、証券取引所で売買できます。このことを上場といい、その株式を発行する企業を上場企業とよびます。

### 株式会社とは

事業で必要となる資金を小分けにした株式を発行して、多くの人から資金を集めて経営する会社を株式会社といいます。株式は出資した(資金を出した)ことの「証明書」であり、株式をもっている個人や法人を株主といいます。株主は、株主総会などを通じて経営の基本方針に対して意見を述べるすることができます。また、保有する株式数に応じて、会社が得た利益の一部が配当として受けとれます。

### 株主の変動

発行された株式は証券取引所で売買されます。株主は、将来の利益の見通しなどを反映して変動します。例えば、商品がたくさん売れて企業の利益が増えると見込まれると、その企業の株式を買いたいと思う人が増えて株価は上がります。逆に、業績の悪化や不祥事など、企業にとって悪い出来事が起こると、株価は下がります。そのため、企業としては資金を得るために、魅力ある経営を続けていく必要があるのです。

p.116-117(学習の前に)を振り返る 私企業(パン屋(E-3)など)、公企業(市営バス(A-1)など)

↑5 パン屋さんの出店地域

店舗取得費	400万円	200万円	100万円
毎月の家賃	40万円	20万円	10万円
客単価	800円	600円	1000円
1日の客数	300人	200人	100人

↑6 法律上、個人と同じ権利や義務をもつ認められた企業や団体を指します。

項目	説明
銘柄	会社の名称
期首	その日の最初(最後)に売買が成立した値段
高値(安値)	その日に売買が成立した最も高い(最も安い)値段(はじめ文字はその年の最高(最低)値)
前日比	前日と当日の終値の値段の比較(△は値上がり、▲は値下がり、○は変化なし)
売値高	その日の売りが成立した株数

↑7 最新の株式市場の例とその見方

企業はどのような分類で分けられているか、本文から書き出してみよう。  
株式会社とはどのような企業が、説明しよう そのしくみを説明してみよう。

### 確認しよう

本文や図版から、学習上大切な事項を確認させる問いです。正しく文章を読む力(読解力)を養い、知識の確実な定着を促しています。

### 説明しよう

学習課題を振り返り、習得した知識を活用して言語活動につながる問いです。思考力、判断力、表現力の育成を促しています。

## 資料活用アイコン 資料活用

「現代社会の見方・考え方」を動かせるのに適した写真・資料に付しています。p.10、205など全39か所に掲載しています。



# 「主体的・対話的で深い学び」につながる単元構成

見通し・振り返りがしやすい構成で「指導と評価の一体化」を支援

まとめとして章末に「学習を振り返ろう」を設置しています。左ページでは学習した知識・技能を図や表を用いて確認できるようにしています。右ページでは、「学習の前に」を振り返ったり、思考ツールを用いた学習事項の整理と「対話」を通したりして「章の問い」に対する自らの考えをまとめることで、「深い学び」を実現できるようにしています。

「学習を振り返ろう」

知・技 思・判・表 主

p.174

p.176

**学習を振り返ろう** 3部1章(p.116~180) **経済活動と私たち**

**節の振り返り** 1~5節の学習を振り返り、下の表を参考に節の問いをまとめよう

**1章の問い** 私たちの社会を豊かにするために、経済にはどのような働きがあるのだろうか。

1節の問い	2節の問い	3節の問い
私たちの社会を豊かにするために、家計にはどのような役割があるのだろうか。	私たちの社会を豊かにするために、企業にはどのような役割があるのだろうか。	私たちの社会を豊かにするために、金融にはどのような役割があるのだろうか。
●家計と経済の関係 (→ p.122)	●企業の社会的責任の例 (→ p.142)	●間接金融と直接金融 (→ p.150)
図のア〜オに入る語句を選ぼう。 (労働、代金、貯蓄、モノ・サービス、給与)	図のカ〜コに入る語句を選ぼう。 (国際社会、消費者、従業員、情報開示、社会貢献)	図のサ〜ソに入る語句を選ぼう。 (直接、間接、貸し出し、預金、株式)
家計 (ア) → (イ) → (エ) → (オ) → (ウ) → (ア)	株主・投資家 (カ) → (キ) → (ク) → (コ) → (ケ) → (ク)	(シ) → (ス) → (セ) → (ソ) → (シ)
主張: 家計の経済活動は、企業活動を支え、企業活動を支えるとともに、消費者としての責任も負っている。	主張: 企業は利益を得るだけでなく、社会的責任を果たすことも大切である。	主張: 金融によって経済活動が活発になり、社会の発展にもつながる。
理由①: 家計の消費は企業の売り上げになる。	理由①: 企業は雇用の場をつくって家計を支えている。	理由①: 私たちの社会は、多くの人が異なる役割を担っている。
理由②: 家計の消費は企業の売り上げになる。	理由②: 企業は雇用の場をつくって家計を支えている。	理由②: 私たちの社会は、多くの人が異なる役割を担っている。
理由③: 家計の消費は企業の売り上げになる。	理由③: 企業は雇用の場をつくって家計を支えている。	理由③: 私たちの社会は、多くの人が異なる役割を担っている。
②で考えた図を参考に、「自立」をキーワードにして、節の問いの答えをまとめよう。	②で考えた図を参考に、「消費者」「従業員」「地域社会」をキーワードにして、節の問いの答えをまとめよう。	②で考えた図を参考に、「融通」「目きき」をキーワードにして、節の問いの答えをまとめよう。

**章の振り返り** 各節の学習や「学習の前に」を振り返り、章の問いをまとめよう

**1** 「学習の前に」を振り返ろう。

何気ない日常も、分業と交換のしくみを通して、経済とつながっているんだね。

社会にいる人はみんな消費者であると同時に、生産者でもあるんだよね。

(1) p.116~117のイラストを振り返り、人と人との間で交換が行われている場面を探し、右の表の①、②にまとめてみよう。

(2) (1)で見つけた場面は、経済活動においてどのような役割を果たしているのか、家計、企業、政府の関係性に着目して右の表の③にまとめてみよう。

(3) ②対話②(2)で作成した表を周りの人と持ち寄り、意見交換をしてみよう。

誰と誰	交換しているもの	経済活動における役割
例) B3 客と店員	お金と商品	家計の消費が企業の利益となり、生産を支えている。企業の生産が、家計に必要なモノやサービスを提供し、家計の暮らしを支えている。

**2** 節の振り返りや①を参考に、章の問いの答えをまとめよう。

**1章の問い**

私たちの社会を豊かにするために、経済にはどのような働きがあるのだろうか。

**ステップ1**

私たちの社会は、多くの人が異なる役割を担っている。 (A) \_\_\_\_\_ するとともに、モノやサービスを (B) \_\_\_\_\_ する経済活動によって成り立っている。

**ステップ2**

私たちの社会を豊かにするために、経済には \_\_\_\_\_ (C) \_\_\_\_\_ 働きがある。

**見方・考え方**

経済のなかで家計や企業や政府がどのように分業し、どのような活動をしてきたかを振り返ろう。

(2) ②対話②(1)について、周りの人と意見交換をしながら、下線部(C)をまとめよう。

## 章の振り返り① 「学習の前に」を振り返る

- 「学習の前に」を振り返って、単元の導入時に見た内容が、学習を経て、学習内容のどの場面であったかを気づかせることで、「見通し・振り返り学習」がしっかり行えます。
- ①の終わりでは、意見交換を行って、対話的な学びを行い、考えを深めます。

## 章の振り返り② 章の問いの答えを導き出す

- ①のまとめや節の問いのまとめをもとに、章の問いの答えを導き出します。ステップ1で当てはまる語句を考えます。
- ステップ2で、章の問いの答えを導き出すために、クラゲチャートなどの思考ツールを用いて考えをまとめます。
- 「見方・考え方」をヒントに、意見交換を行って「章の問い」の答えを導き出します。

「主体的・対話的で深い学び」へ

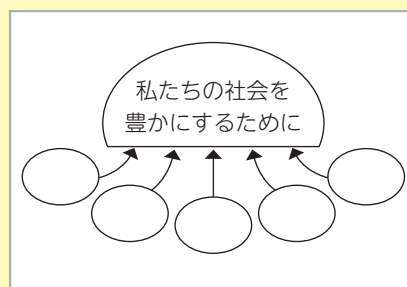
## 節の振り返り NEW

図や表を用いて学習事項の整理と確認を行い、問いの答えをまとめます。

## ポイント

### 思考ツールアイコン NEW

視覚的に分析したり考えを整理する際に用いる図や表を、思考ツールといいます。思考ツールを活用する場面には「思考ツールアイコン」を付し、活用を促しています。また、巻頭9とQRコンテンツでは、教科書で取り上げている思考ツールの紹介と、活用の手順を動画で説明しています。



## 思考ツールアイコン 掲載ページ一覧(全12か所)

ページ	掲載部分タイトル	思考ツールの種類
p.81	アクティブ公民「政党の主張を座標軸でまとめよう」	座標軸
p.5	アクティブ公民「現代社会の特色を考えよう」	ウェビング
p.109	アクティブ公民「自分のまちの課題を解決する予算案を提出しよう」	ランキング
p.25	第1部第1章「学習を振り返ろう」	Yチャート クラゲチャート
p.111	第2部第2章「学習を振り返ろう」	クラゲチャート
p.43	アクティブ公民「民主主義のあり方考えよう」	クラゲチャート
p.165	アクティブ公民「給付(受益)と負担について考えよう」	座標軸
p.71	第2部第1章「学習を振り返ろう」	クラゲチャート
p.167	アクティブ公民「赤字バス路線に税金を使うべきか?」(技能をみがく⑥)	ツールミンモデル
p.79	アクティブ公民「メディアの特徴をベン図でまとめよう」	ベン図
p.176	第3部第1章「学習を振り返ろう」	クラゲチャート

ページ	掲載部分タイトル	思考ツールの種類
p.81	アクティブ公民「政党の主張を座標軸でまとめよう」	座標軸
p.109	アクティブ公民「自分のまちの課題を解決する予算案を提出しよう」	ランキング
p.111	第2部第2章「学習を振り返ろう」	クラゲチャート
p.165	アクティブ公民「給付(受益)と負担について考えよう」	座標軸
p.167	アクティブ公民「赤字バス路線に税金を使うべきか?」(技能をみがく⑥)	ツールミンモデル
p.176	第3部第1章「学習を振り返ろう」	クラゲチャート

# 「主体的・対話的で深い学び」につながる単元構成

見通し・振り返りがしやすい構成で「指導と評価の一体化」を支援

NEW

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、第5部「課題探究学習」につながる「探究学習への準備」を各章末に新設しています(全5か所)。SDGsの観点と、自分の住む地域の視点で「章の学習」を振り返ることで、「持続可能な社会の実現」に向け、学習内容を「自分ごと」として捉えて社会に参画する意識を育むことができますようにしています。

## 「学習を振り返ろう」 主

p.177



### 探究学習への準備 課題探究学習(5部、p.216)に向けて、探究テーマを考えよう 主体的な学び

1 章の学習を振り返って、気になった学習内容や事例を挙げよう。

#### 観点1 SDGsの17の目標から振り返ろう

(1) SDGsの17の目標から、章で学習した内容と特に関連が深いと考える目標を挙げて、下の表で整理しよう。



SDGsの目標	関連が深い学習内容や事例
例) 12 つくる責任 つかう責任	・自立した消費者の育成 ・社会的責任を果たす企業経営 ・循環経済の実現

#### 観点2 自分の住む地域の視点で振り返ろう

(2) 地方公共団体の広報誌やウェブサイトから、章で学習した内容と特に関連が深い事例を挙げて、下の表で整理しよう。



地域の問題	関連が深い学習内容や事例
例) 人口が減少し、税収が減っている。 例) 企業の経営者が高齢化し、廃業する企業が増えている。	・財政再建と持続的な財政制度の構築 ・地域経済の活性化

2 対話 ①で整理したことを周りの人と持ち寄って、探究したいテーマを表にまとめよう。

増加する医療費にどう対応するかについて、探究したい。	地球環境と経済の豊かさの両立について探究したい。
意欲をもって働き続けるための取り組みについて、調べたい。	収入が少なく生活に困っている人に何ができるか考えたい。

この章のなかから選んだテーマ	探究するためにさらに調べたいこと
例) 増加する医療費	・近年の医療制度の改革 ・海外の医療制度

探究するテーマについて、先生や家族などの周りの大人にもアドバイスをもらってみましょう。

- 希少性 (p.119)
  - 家計 (p.122)
  - 流通 (p.124)
  - 企業 (p.132)
  - 株式会社 (p.135)
  - 独占・寡占 (p.137)
  - 社会的責任 (p.142)
  - 市場経済 (p.146)
  - 貨幣 (p.148)
  - 直接金融 (p.150)
  - 中央銀行 (p.152)
  - 財政 (p.156)
  - 歳出・歳入 (p.158)
  - 社会資本 (p.160)
  - 社会保障 (p.162)
  - 景気変動 (p.168)
  - 円高・円安 (p.170)
- ▶▶ QR一問一答で確認しよう

- 節の問い：学習を通して考えをまとめることが
    - よくできた □ できた □ あまりできなかった
  - 章の問い：学習を通して考えをまとめることが
    - よくできた □ できた □ あまりできなかった
  - 章の学習を通して特に重要だと思ったこと
- 課題探究学習のテーマ案

### 探究学習への準備① 章の学習を振り返る NEW

①では「章の学習」を、「SDGsの視点」と「自分の住む地域の視点」の2つの観点で振り返って、整理します。

### 探究学習への準備② テーマを表にまとめる NEW

- ①で整理したことをまわりの人と持ち寄ります。
- まわりの人と話し合い(対話)、探究したいテーマを決めていきます。
- 決めたテーマと、そのテーマをさらに探究するために調べたいことを表にまとめます。

「主体的・対話的で深い学び」へ

### 第5部 「課題探究学習」へ NEW

この章でまとめた内容や、他の章でまとめた内容から、「課題探究」のテーマを決めて、「課題探究学習」を進めます。(本資料p.44参照)

より深い「主体的・対話的で深い学び」へ 本資料p.44

### 探究学習への準備 掲載ページ一覧(全5か所)

該当の「学習を振り返ろう」	掲載ページ
第1部第1章	p.26
第2部第1章	p.72
第2部第2章	p.112
第3部第1章	p.177
第4部第1章	p.212

### ポイント

#### 対話アイコン NEW

他者とのやり取りを通じて思考を広げる問いや学習課題に付しています。対話型の学習活動を通して、自らの考えをより深めるとともに、他者の意見を尊重する態度を身に付けることができます。すべての見開きの導入部分ほか「学習の前に」「アクティブ公民」に設置しています。



# 「主体的・対話的で深い学び」につながる単元構成

## 対話を通して学びを深める「アクティブ公民」

「アクティブ公民」では、具体的なテーマを設定した活動型の学習を通じて、「主体的・対話的で深い学び」を実現できます。パフォーマンス課題として、「思考・判断・表現」や「主体的に学習に取り組む態度」の見取りに最適です。

### 特設ページ型

#### 「見方・考え方」の活用

課題を追究する際に働かせる「見方・考え方」を示しています。

#### 学習課題

現実の社会で起こりうる事例を提示することで、課題を追究する学習へと導きます。

#### 状況の確認

生徒が自分なりの考えを構築していくにあたり、さまざまな観点の資料を提示し、根拠をもって考えられるようにしています。

↓p.166-167

**アクティブ公民 AL** 赤バス路線に税金を使うべきか？

4節では、財政の役割や、税金には限りがあることを学習しました。日本には、過疎化により、存続が危ぶまれる鉄道やバスの路線が多くあります。赤バスをめぐると対立を例に、税金の使いみちをどう選択するべきか、考えてみましょう。

**1 赤バス路線の廃止計画を確認しよう**

**市の状況** あなたは人口約8万を誇るふゆき市の市長です。山間部に位置するC地区は、高齢化・過疎化が進んでいます。C地区と市の中心部であるA地区を結ぶ赤バスは、利用客が減少し、赤字が続いています。バス会社はほかの路線から利益を確保して、赤字額が大きいため、C地区の住民に路線の廃止を提案しました。これに対し、C地区の住民は、高齢者が多く、通院や買い物に路線バスが不可欠だと反対しており、市の税金を使ってもバス路線を維持してほしいと訴えています。

**2 赤バス路線をめぐる住民の主張を整理しよう**

赤バス路線を維持すべきかどうかについては、A・B地区の住民とC地区の住民の間で意見の対立が見られます。A・B地区の住民も税金を納めているため、この問題の当事者です。

**3 対立から合意に向けた解決策を提案しよう**

企業が存続していくためには、採算のとれない事業から撤退し、その分採算のとれる事業に資源を配分する必要があります。その意味で、赤バス路線を廃止するという判断は、効率の見方・考え方からなっています。一方で、公共交通手段の確保のために税金を使うことは、人々がどこに住んでいても、生活上必要な公共サービスを受けられることができるという意味で、公正の見方・考え方からなっています。

**TRY2**

①赤バス路線は税金を使うべきに当たるとどう思うか。②市長としての立場から、③の解決策①-③のなかから検討しよう。その際、「公益性」と「経費の効率化」の両方を重視するべきか考えよう。

①赤バス路線を廃止するべきかどうかについては、A・B地区の住民とC地区の住民の間で意見の対立が見られます。A・B地区の住民も税金を納めているため、この問題の当事者です。

**TRY1**

①A-Cの各地区間を運行するバスの利益(または損失)を計算しよう。

②解決策とその実施後の運賃、市と市民1人あたりの年間負担額

③A-Cの各地区間を運行するバスの利益(または損失)を計算しよう。

④解決策とその実施後の運賃、市と市民1人あたりの年間負担額

⑤A-Cの各地区間を運行するバスの利益(または損失)を計算しよう。

⑥解決策とその実施後の運賃、市と市民1人あたりの年間負担額

⑦A-Cの各地区間を運行するバスの利益(または損失)を計算しよう。

⑧解決策とその実施後の運賃、市と市民1人あたりの年間負担額

⑨A-Cの各地区間を運行するバスの利益(または損失)を計算しよう。

⑩解決策とその実施後の運賃、市と市民1人あたりの年間負担額

⑪A-Cの各地区間を運行するバスの利益(または損失)を計算しよう。

⑫解決策とその実施後の運賃、市と市民1人あたりの年間負担額

⑬A-Cの各地区間を運行するバスの利益(または損失)を計算しよう。

⑭解決策とその実施後の運賃、市と市民1人あたりの年間負担額

⑮A-Cの各地区間を運行するバスの利益(または損失)を計算しよう。

⑯解決策とその実施後の運賃、市と市民1人あたりの年間負担額

⑰A-Cの各地区間を運行するバスの利益(または損失)を計算しよう。

⑱解決策とその実施後の運賃、市と市民1人あたりの年間負担額

⑲A-Cの各地区間を運行するバスの利益(または損失)を計算しよう。

⑳解決策とその実施後の運賃、市と市民1人あたりの年間負担額

㉑A-Cの各地区間を運行するバスの利益(または損失)を計算しよう。

㉒解決策とその実施後の運賃、市と市民1人あたりの年間負担額

㉓A-Cの各地区間を運行するバスの利益(または損失)を計算しよう。

㉔解決策とその実施後の運賃、市と市民1人あたりの年間負担額

㉕A-Cの各地区間を運行するバスの利益(または損失)を計算しよう。

㉖解決策とその実施後の運賃、市と市民1人あたりの年間負担額

㉗A-Cの各地区間を運行するバスの利益(または損失)を計算しよう。

㉘解決策とその実施後の運賃、市と市民1人あたりの年間負担額

㉙A-Cの各地区間を運行するバスの利益(または損失)を計算しよう。

㉚解決策とその実施後の運賃、市と市民1人あたりの年間負担額

㉛A-Cの各地区間を運行するバスの利益(または損失)を計算しよう。

㉜解決策とその実施後の運賃、市と市民1人あたりの年間負担額

㉝A-Cの各地区間を運行するバスの利益(または損失)を計算しよう。

㉞解決策とその実施後の運賃、市と市民1人あたりの年間負担額

㉟A-Cの各地区間を運行するバスの利益(または損失)を計算しよう。

㊱解決策とその実施後の運賃、市と市民1人あたりの年間負担額

㊲A-Cの各地区間を運行するバスの利益(または損失)を計算しよう。

㊳解決策とその実施後の運賃、市と市民1人あたりの年間負担額

㊴A-Cの各地区間を運行するバスの利益(または損失)を計算しよう。

㊵解決策とその実施後の運賃、市と市民1人あたりの年間負担額

㊶A-Cの各地区間を運行するバスの利益(または損失)を計算しよう。

㊷解決策とその実施後の運賃、市と市民1人あたりの年間負担額

㊸A-Cの各地区間を運行するバスの利益(または損失)を計算しよう。

㊹解決策とその実施後の運賃、市と市民1人あたりの年間負担額

㊺A-Cの各地区間を運行するバスの利益(または損失)を計算しよう。

㊻解決策とその実施後の運賃、市と市民1人あたりの年間負担額

㊼A-Cの各地区間を運行するバスの利益(または損失)を計算しよう。

㊽解決策とその実施後の運賃、市と市民1人あたりの年間負担額

㊾A-Cの各地区間を運行するバスの利益(または損失)を計算しよう。

㊿解決策とその実施後の運賃、市と市民1人あたりの年間負担額

課題を追究するうえで参考になる技能を紹介しています。

**主張の整理**  
解決策を考えるためには異なる主張を踏まえなければならないことに気づかせ、多面的・多角的な考察を促します。

**対立から合意へ**  
全てを満たす解決策がない中で、自分なりの解決策を理由とともに考えることで、思考力・判断力を養い、深い学びにつながります。

### 特設ページ型「アクティブ公民」 テーマ一覧(全10か所)

テーマ	ページ
マンションの騒音問題を解決しよう	p.22-23
民主主義のあり方を考えよう	p.42-43
青果店の立ちのきについて考えよう	p.64-65
裁判員として裁判の判決を考えよう	p.98-99
自分のまちの課題を解決する予算案を提案しよう	p.108-109
もしも無人島に漂着したら？	p.120-121
一人暮らしにはお金がいくらかかる？	p.130-131
パン屋さんを起業してみよう	p.144-145
赤バス路線に税金を使うべきか？	p.166-167
2040年の日本の電源構成案を提案しよう	p.208-209

※アミ掛けのテーマは、次ページでも解説

### コラム型

**アクティブ公民** 多数決を利用した決め方を考えよう

文化祭に向けて、クラスの出し物を何にするか、クラス全員で話し合ったところ、お化け屋敷、カフェ、演劇の3案に絞られました。そこで、多数決を行ったところ、結果は右のようになりました。

**【出し物の第一候補】**  
お化け屋敷-17人  
カフェ-10人  
演劇-8人

生徒Aの意見  
もう話し合いは尽くしたので、1回の多数決の結果を決めたい。

生徒Bの意見  
お化け屋敷が最多だったが、過半数ではないから、お化け屋敷とカフェのうち一回決選投票をしよう。

生徒Cの意見  
多くの意見を反映できるような、第二候補の意見も聞いて、第一候補と第二候補の合計で決めたい。

1 出し物の候補3案について、第一候補と第一候補でない生徒の人数を右の表にまとめてみよう。

2 生徒A-Cの意見を参考に、どのような決め方がよいか、効率や民主主義の考え方を踏まえながら考えてみよう。

3 ②について、周りの人と意見交換をしよう。

**出し物**

出し物	第一候補	第一候補でない
お化け屋敷	17	10
カフェ	10	8
演劇	8	17

**アクティブ公民** 政治参加の方法を考えよう

世論に関心をもつ 投票する 行政に意見を伝える 議論に参加する

国会を傍聴する 議員に立候補する

①②③を参考に中学生でもできる政治参加の方法を考えてみよう。

④⑤について、周りの人と意見交換をしよう。

国民による政治参加の例

**ポイント**  
本文ページの「コラム」として、短時間で取り組めるパフォーマンス課題として設置しています。

**アクティブ公民** 政治参加の方法を考えよう

世論に関心をもつ 投票する 行政に意見を伝える 議論に参加する

国会を傍聴する 議員に立候補する

①②③を参考に中学生でもできる政治参加の方法を考えてみよう。

④⑤について、周りの人と意見交換をしよう。

国民による政治参加の例

### コラム型「アクティブ公民」 テーマ一覧(全33か所)

テーマ	ページ
現代社会の特色を考えよう	p.5
効率と公正から考えよう	p.19
決定を行う方法を考えよう	p.21
多数決を利用した決め方を考えよう	p.33
政治参加の方法を考えよう	p.39
「健康で文化的な最低限度の生活」を営むうえで必要なものを考えよう	p.55
公共の福祉のために制限される権利を考えよう	p.63
生徒会から民主主義を考えよう	p.77
メディアの特徴をベン図でまとめよう	p.79
政党の主張を座標軸でまとめよう	p.81
国会議員と公務員を比べよう	p.92
「アリとキリギリス」から「選択」を考える	p.119
家計簿の支出項目を考えよう	p.123
救急サービスの有料化について考えよう	p.157
累進課税について考えよう	p.159
給付(受益)と負担について考えよう	p.165

左の一覧表にないコラム型「アクティブ公民」は、シミュレーションを構成するものとして本資料p.31-32で解説。



# 「主体的・対話的で深い学び」につながる単元構成

## 対話を通して学びを深める「アクティブ公民」

まちづくり・企業・国際協力など、社会参画を疑似体験できる学習が行えるように、本文ページと連動させたシミュレーション型の「アクティブ公民」を設置しています。QRコンテンツ(本資料p.40)を使えば、限られた授業時間でも、無理なく取り組みます。

### シミュレーション型

### ポイント

学習の流れ(→)に沿って、各見開きにある「アクティブ公民」に取り組んでいくことで、最終課題のp.144-145「パン屋さんを起業してみよう」につながります。企業単元が、実感をもって学習できます。

**1 私たちの生活と企業**

2節の問い 私たちの社会を豊かにするために、企業にはどのような役割があるのだろうか。

p.132-133

**2 企業の種類と株式会社**

2節の問い 私たちの社会を豊かにするために、企業にはどのような役割があるのだろうか。

p.135

※「企業の立地」は、企業の種類に大きな影響を及ぼすため、ここでやるようにしています。

**3 企業の競争と独占**

2節の問い 私たちの社会を豊かにするために、企業にはどのような役割があるのだろうか。

p.137

**4 働くことの意義と労働者の権利**

2節の問い 私たちの社会を豊かにするために、企業にはどのような役割があるのだろうか。

p.139

↑p.132-133

↑p.135

↑p.137

↑p.139

### 5 労働環境の変化と私たち

**アクティブ公民**

**パン屋さんをつくる**

3 職場の標語をつくる

あなたは社長として、パン屋さんの繁盛と、従業員の生活を守ることを目指しています。Bを参考に、職場の標語を三つ考えましょう。

〈標語の例〉

- 自分で考えて行動しよう
- お客さんには誠実に接しよう
- 家庭生活を大切にしよう

効率	品質	スピード	売り上げ
公正	誠実	責任	感謝
自立	行動	挑戦	成長
多様性	生活	健康	家庭

↑B標語に使う価値観の例

p.141

### 6 企業の社会的責任

**アクティブ公民**

**パン屋さんをつくる**

4 社会的責任を果たそう

あなたはパン屋さんの経営を通じて、社会的責任を果たそうと考えました。Bを参考に、取り組みたい活動の一つ考えましょう。

仕入れ	・仕入れ先はどこにするか。 ・原材料の生産過程に問題はないか。
電力消費	・電力消費量を減らせないか。 ・調理くずを生かさないか。
材料の販売	・包装材料はどうするか。 ・売れ残ったどうするか。
その他	・地域にできる貢献はないか。

↑B社会的責任の活動のヒント

p.143

各見開きの「アクティブ公民」屋さんの起業企画書を作成できます。QRコンテンツ「パン屋さんをつくる」でも同様の学習が出来ます(本資料p.40参照)。

**アクティブ公民**

**パン屋さんをつくる**

2 利益について考えよう

TR1 2 2節では、企業の役割について学習しながら、パン屋さんの創業に向けた計画を立ててきました。実際の創業をするためには、損益を少なくする必要があります。日々の利益計算も大切です。

TR2 1 月間売上げ 万円 = (円) × (円) × 30日

2 月間費用 万円 = (円) × (円) × 30日

3 月間利益 万円 = (円) - (円) = (円)

TR3 1 月間利益 万円 = (円) × (円) × 30日

2 月間費用 万円 = (円) × (円) × 30日

3 月間利益 万円 = (円) - (円) = (円)

TR4 1 月間利益 万円 = (円) × (円) × 30日

2 月間費用 万円 = (円) × (円) × 30日

3 月間利益 万円 = (円) - (円) = (円)

TR5 1 月間利益 万円 = (円) × (円) × 30日

2 月間費用 万円 = (円) × (円) × 30日

3 月間利益 万円 = (円) - (円) = (円)

TR6 1 月間利益 万円 = (円) × (円) × 30日

2 月間費用 万円 = (円) × (円) × 30日

3 月間利益 万円 = (円) - (円) = (円)

TR7 1 月間利益 万円 = (円) × (円) × 30日

2 月間費用 万円 = (円) × (円) × 30日

3 月間利益 万円 = (円) - (円) = (円)

TR8 1 月間利益 万円 = (円) × (円) × 30日

2 月間費用 万円 = (円) × (円) × 30日

3 月間利益 万円 = (円) - (円) = (円)

TR9 1 月間利益 万円 = (円) × (円) × 30日

2 月間費用 万円 = (円) × (円) × 30日

3 月間利益 万円 = (円) - (円) = (円)

TR10 1 月間利益 万円 = (円) × (円) × 30日

2 月間費用 万円 = (円) × (円) × 30日

3 月間利益 万円 = (円) - (円) = (円)

TR11 1 月間利益 万円 = (円) × (円) × 30日

2 月間費用 万円 = (円) × (円) × 30日

3 月間利益 万円 = (円) - (円) = (円)

TR12 1 月間利益 万円 = (円) × (円) × 30日

2 月間費用 万円 = (円) × (円) × 30日

3 月間利益 万円 = (円) - (円) = (円)

TR13 1 月間利益 万円 = (円) × (円) × 30日

2 月間費用 万円 = (円) × (円) × 30日

3 月間利益 万円 = (円) - (円) = (円)

TR14 1 月間利益 万円 = (円) × (円) × 30日

2 月間費用 万円 = (円) × (円) × 30日

3 月間利益 万円 = (円) - (円) = (円)

TR15 1 月間利益 万円 = (円) × (円) × 30日

2 月間費用 万円 = (円) × (円) × 30日

3 月間利益 万円 = (円) - (円) = (円)

TR16 1 月間利益 万円 = (円) × (円) × 30日

2 月間費用 万円 = (円) × (円) × 30日

3 月間利益 万円 = (円) - (円) = (円)

TR17 1 月間利益 万円 = (円) × (円) × 30日

2 月間費用 万円 = (円) × (円) × 30日

3 月間利益 万円 = (円) - (円) = (円)

TR18 1 月間利益 万円 = (円) × (円) × 30日

2 月間費用 万円 = (円) × (円) × 30日

3 月間利益 万円 = (円) - (円) = (円)

TR19 1 月間利益 万円 = (円) × (円) × 30日

2 月間費用 万円 = (円) × (円) × 30日

3 月間利益 万円 = (円) - (円) = (円)

TR20 1 月間利益 万円 = (円) × (円) × 30日

2 月間費用 万円 = (円) × (円) × 30日

3 月間利益 万円 = (円) - (円) = (円)

TR21 1 月間利益 万円 = (円) × (円) × 30日

2 月間費用 万円 = (円) × (円) × 30日

3 月間利益 万円 = (円) - (円) = (円)

TR22 1 月間利益 万円 = (円) × (円) × 30日

2 月間費用 万円 = (円) × (円) × 30日

3 月間利益 万円 = (円) - (円) = (円)

TR23 1 月間利益 万円 = (円) × (円) × 30日

2 月間費用 万円 = (円) × (円) × 30日

3 月間利益 万円 = (円) - (円) = (円)

TR24 1 月間利益 万円 = (円) × (円) × 30日

2 月間費用 万円 = (円) × (円) × 30日

3 月間利益 万円 = (円) - (円) = (円)

TR25 1 月間利益 万円 = (円) × (円) × 30日

2 月間費用 万円 = (円) × (円) × 30日

3 月間利益 万円 = (円) - (円) = (円)

TR26 1 月間利益 万円 = (円) × (円) × 30日

2 月間費用 万円 = (円) × (円) × 30日

3 月間利益 万円 = (円) - (円) = (円)

TR27 1 月間利益 万円 = (円) × (円) × 30日

2 月間費用 万円 = (円) × (円) × 30日

3 月間利益 万円 = (円) - (円) = (円)

TR28 1 月間利益 万円 = (円) × (円) × 30日

2 月間費用 万円 = (円) × (円) × 30日

3 月間利益 万円 = (円) - (円) = (円)

TR29 1 月間利益 万円 = (円) × (円) × 30日

2 月間費用 万円 = (円) × (円) × 30日

3 月間利益 万円 = (円) - (円) = (円)

TR30 1 月間利益 万円 = (円) × (円) × 30日

2 月間費用 万円 = (円) × (円) × 30日

3 月間利益 万円 = (円) - (円) = (円)

TR31 1 月間利益 万円 = (円) × (円) × 30日

2 月間費用 万円 = (円) × (円) × 30日

3 月間利益 万円 = (円) - (円) = (円)

TR32 1 月間利益 万円 = (円) × (円) × 30日

2 月間費用 万円 = (円) × (円) × 30日

3 月間利益 万円 = (円) - (円) = (円)

TR33 1 月間利益 万円 = (円) × (円) × 30日

2 月間費用 万円 = (円) × (円) × 30日

3 月間利益 万円 = (円) - (円) = (円)

TR34 1 月間利益 万円 = (円) × (円) × 30日

2 月間費用 万円 = (円) × (円) × 30日

3 月間利益 万円 = (円) - (円) = (円)

TR35 1 月間利益 万円 = (円) × (円) × 30日

2 月間費用 万円 = (円) × (円) × 30日

3 月間利益 万円 = (円) - (円) = (円)

TR36 1 月間利益 万円 = (円) × (円) × 30日

2 月間費用 万円 = (円) × (円) × 30日

3 月間利益 万円 = (円) - (円) = (円)

TR37 1 月間利益 万円 = (円) × (円) × 30日

2 月間費用 万円 = (円) × (円) × 30日

3 月間利益 万円 = (円) - (円) = (円)

TR38 1 月間利益 万円 = (円) × (円) × 30日

2 月間費用 万円 = (円) × (円) × 30日

3 月間利益 万円 = (円) - (円) = (円)

TR39 1 月間利益 万円 = (円) × (円) × 30日

2 月間費用 万円 = (円) × (円) × 30日

3 月間利益 万円 = (円) - (円) = (円)

TR40 1 月間利益 万円 = (円) × (円) × 30日

2 月間費用 万円 = (円) × (円) × 30日

3 月間利益 万円 = (円) - (円) = (円)

TR41 1 月間利益 万円 = (円) × (円) × 30日

2 月間費用 万円 = (円) × (円) × 30日

3 月間利益 万円 = (円) - (円) = (円)

TR42 1 月間利益 万円 = (円) × (円) × 30日

2 月間費用 万円 = (円) × (円) × 30日

3 月間利益 万円 = (円) - (円) = (円)

TR43 1 月間利益 万円 = (円) × (円) × 30日

2 月間費用 万円 = (円) × (円) × 30日

3 月間利益 万円 = (円) - (円) = (円)

TR44 1 月間利益 万円 = (円) × (円) × 30日

2 月間費用 万円 = (円) × (円) × 30日

3 月間利益 万円 = (円) - (円) = (円)

TR45 1 月間利益 万円 = (円) × (円) × 30日

2 月間費用 万円 = (円) × (円) × 30日

3 月間利益 万円 = (円) - (円) = (円)

TR46 1 月間利益 万円 = (円) × (円) × 30日

2 月間費用 万円 = (円) × (円) × 30日

3 月間利益 万円 = (円) - (円) = (円)

TR47 1 月間利益 万円 = (円) × (円) × 30日

2 月間費用 万円 = (円) × (円) × 30日

3 月間利益 万円 = (円) - (円) = (円)

TR48 1 月間利益 万円 = (円) × (円) × 30日

2 月間費用 万円 = (円) × (円) × 30日

3 月間利益 万円 = (円) - (円) = (円)

TR49 1 月間利益 万円 = (円) × (円) × 30日

2 月間費用 万円 = (円) × (円) × 30日

3 月間利益 万円 = (円) - (円) = (円)

TR50 1 月間利益 万円 = (円) × (円) × 30日

2 月間費用 万円 = (円) × (円) × 30日

3 月間利益 万円 = (円) - (円) = (円)

TR51 1 月間利益 万円 = (円) × (円) × 30日

2 月間費用 万円 = (円) × (円) × 30日

3 月間利益 万円 = (円) - (円) = (円)

TR52 1 月間利益 万円 = (円) × (円) × 30日

2 月間費用 万円 = (円) × (円) × 30日

3 月間利益 万円 = (円) - (円) = (円)

TR53 1 月間利益 万円 = (円) × (円) × 30日

2 月間費用 万円 = (円) × (円) × 30日

3 月間利益 万円 = (円) - (円) = (円)

TR54 1 月間利益 万円 = (円) × (円) × 30日

2 月間費用 万円 = (円) × (円) × 30日

3 月間利益 万円 = (円) - (円) = (円)

TR55 1 月間利益 万円 = (円) × (円) × 30日

2 月間費用 万円 = (円) × (円) × 30日

3 月間利益 万円 = (円) - (円) = (円)

TR56 1 月間利益 万円 = (円) × (円) × 30日

2 月間費用 万円 = (円) × (円) × 30日

3 月間利益 万円 = (円) - (円) = (円)

TR57 1 月間利益 万円 = (円) × (円) × 30日

2 月間費用 万円 = (円) × (円) × 30日

3 月間利益 万円 = (円) - (円) = (円)

TR58 1 月間利益 万円 = (円) × (円) × 30日

2 月間費用 万円 = (円) × (円) × 30日

3 月間利益 万円 = (円) - (円) = (円)

TR59 1 月間利益 万円 = (円) × (円) × 30日

2 月間費用 万円 = (円) × (円) × 30日

3 月間利益 万円 = (円) - (円) = (円)

TR60 1 月間利益 万円 = (円) × (円) × 30日

2 月間費用 万円 = (円) × (円) × 30日

3 月間利益 万円 = (円) - (円) = (円)

TR61 1 月間利益 万円 = (円) × (円) × 30日

2 月間費用 万円 = (円) × (円) × 30日

3 月間利益 万円 = (円) - (円) = (円)

TR62 1 月間利益 万円 = (円) × (円) × 30日

2 月間費用 万円 = (円) × (円) × 30日

3 月間利益 万円 = (円) - (円) = (円)

TR63 1 月間利益 万円 = (円) × (円) × 30日

2 月間費用 万円 = (円) × (円) × 30日

3 月間利益 万円 = (円) - (円) = (円)

TR64 1 月間利益 万円 = (円) × (円) × 30日

2 月間費用 万円 = (円) × (円) × 30日

3 月間利益 万円 = (円) - (円) = (円)

TR65 1 月間利益 万円 = (円) × (円) × 30日

2 月間費用 万円 = (円) × (円) × 30日

3 月間利益 万円 = (円) - (円) = (円)

TR66 1 月間利益 万円 = (円) × (円) × 30日

2 月間費用 万円 = (円) × (円) × 30日

3 月間利益 万円 = (円) - (円) = (円)

TR67 1 月間利益 万円 = (円) × (円) × 30日

2 月間費用 万円 = (円) × (円) × 30日

3 月間利益 万円 = (円) - (円) = (円)

TR68 1 月間利益 万円 = (円) × (円) × 30日

2 月間費用 万円 = (円) × (円) × 30日

3 月間利益 万円 = (円) - (円) = (円)

TR69 1 月間利益 万円 = (円) × (円) × 30日

2 月間費用 万円 = (円) × (円) × 30日

3 月間利益 万円 = (円) - (円) = (円)

TR70 1 月間利益 万円 = (円) × (円) × 30日

2 月間費用 万円 = (円) × (円) × 30日

3 月間利益 万円 = (円) - (円) = (円)

TR71 1 月間利益 万円 = (円) × (円) × 30日

2 月間費用 万円 = (円) × (円) × 30日

3 月間利益 万円 = (円) - (円) = (円)

TR72 1 月間利益 万円 = (円) × (円) × 30日

2 月間費用 万円 = (円) × (円) × 30日

3 月間利益 万円 = (円) - (円) = (円)

TR73 1 月間利益 万円 = (円) × (円) × 30日

2 月間費用 万円 = (円) × (円) × 30日

3 月間利益 万円 = (円) - (円) = (円)

TR74 1 月間利益 万円 = (円) × (円) × 30日

2 月間費用 万円 = (円) × (円) × 30日

3 月間利益 万円 = (円) - (円) = (円)

TR75 1 月間利益 万円 = (円) × (円) × 30日

2 月間費用 万円 = (円) × (円) × 30日

3 月間利益 万円 = (円) - (円) = (円)

TR76 1 月間利益 万円 = (円) × (円) × 30日

2 月間費用 万円 = (円) × (円) × 30日

3 月間利益 万円 = (円) - (円) = (円)

TR77 1 月間利益 万円 = (円) × (円) × 30日

2 月間費用 万円 = (円) × (円) × 30日

3 月間利益 万円 = (円) - (円) = (円)

TR78 1 月間利益 万円 = (円) × (円) × 30日

2 月間費用 万円 = (円) × (円) × 30日

3 月間利益 万円 = (円) - (円) = (円)

TR79 1 月間利益 万円 = (円) × (円) × 30日

2 月間費用 万円 = (円) × (円) × 30日

3 月間利益 万円 = (円) - (円) = (円)

TR80 1 月間利益 万円 = (円) × (円) × 30日

2 月間費用 万円 = (円) × (円) × 30日

3 月間利益 万円 = (円) - (円) = (円)

TR81 1 月間利益 万円 = (円) × (円) × 30日

2 月間費用 万円 = (円) × (円) × 30日

3 月間利益 万円 = (円) - (円) = (円)

TR82 1 月間利益 万円 = (円) × (円) × 30日

2 月間費用 万円 = (円) × (円) × 30日

3 月間利益 万円 = (円) - (円) = (円)

TR83 1 月間利益 万円 = (円) × (円) × 30日

2 月間費用 万円 = (円) × (円) × 30日

3 月間利益 万円 = (円) - (円) = (円)

TR84 1 月間利益 万円 = (円) × (円) × 30日

2 月間費用 万円 = (円) × (円) × 30日

3 月間利益 万円 = (円) - (円) = (円)

TR85 1 月間利益 万円 = (円) × (円) × 30日

2 月間費用 万円 = (円) × (円) × 30日

3 月間利益 万円 = (円) - (円) = (円)

TR86 1 月間利益 万円 = (円) × (円) × 30日

2 月間費用 万円 = (円) × (円) × 30日

3 月間利益 万円 = (円) - (円) = (円)

TR87 1 月間利益 万円 = (円) × (円) × 30日

2 月間費用 万円 = (円) × (円) × 30日

3 月間利益 万円 = (円) - (円) = (円)

TR88 1 月間利益 万円 = (円) × (円) × 30日

2 月間費用 万円 = (円) × (円) × 30日

3 月間利益 万円 = (円) - (円) = (円)

TR89 1 月間利益 万円 = (円) × (円) × 30日

2 月間費用 万円 = (円) × (円) × 30日

3 月間利益 万円 = (円) - (円) = (円)

TR90 1 月間利益 万円 = (円) × (円) × 30日

2 月間費用 万円 = (円) × (円) × 30日

3 月間利益 万円 = (円) - (円) = (円)

TR91 1 月間利益 万円 = (円) × (円) × 30日

2 月間費用 万円 = (円) × (円) × 30日

3 月間利益 万円 = (円) - (円) = (円)

TR92 1 月間利益 万円 = (円) × (円) × 30日

2 月間費用 万円 = (円) × (円) × 30日

3 月間利益 万円 = (円) - (円) = (円)

TR93 1 月間利益 万円 = (円) × (円) × 30日

2 月間費用 万円 = (円) × (円) × 30日

3 月間利益 万円 = (円) - (円) = (円)

TR94 1 月間利益 万円 = (円) × (円) × 30日

2 月間費用 万円 = (円) × (円) × 30日

3 月間利益 万円 = (円) - (円) = (円)

TR95 1 月間利益 万円 = (円) × (円) × 30日

2 月間費用 万円 = (円) × (円) × 30日

3 月間利益 万円 = (円) - (円) = (円)

TR96 1 月間利益 万円 = (円) × (円) × 30日

2 月間費用 万円 = (円) × (円) × 30日

3 月間利益 万円 = (円) - (円) = (円)

TR97 1 月間利益 万円 = (円) × (円) × 30日

2 月間費用 万円 = (円) × (円) × 30日

3 月間利益 万円 = (円) - (円) = (円)

TR98 1 月間利益 万円 = (円) × (円) × 30日

2 月間費用 万円 = (円) × (円) × 30日

3 月間利益 万円 = (円) - (円) = (円)

TR99 1 月間利益 万円 = (円) × (円) × 30日

2 月間費用 万円 = (円) × (円) × 30日

3 月間利益 万円 = (円) - (円) = (円)

TR100 1 月間利益 万円 = (円) × (円) × 30日

2 月間費用 万円 = (円) × (円) × 30日

3 月間利益 万円 = (円) - (円) = (円)

### シミュレーション型「アクティブ公民」 テーマ一覧(全19か所)

シミュレーション名	テーマ	ページ
自分のまちの課題を解決する 予算案を提案しよう	自分のまちの課題を解決する予算案を提案しよう①	p.101
	自分のまちの課題を解決する予算案を提案しよう②	p.103
	自分のまちの課題を解決する予算案を提案しよう③	p.105
	自分のまちの課題を解決する予算案を提案しよう	p.108-109
パン屋さんをつくる パン屋さんを起業してみよう	パン屋さんをつくる①	p.133
	パン屋さんをつくる②	p.135
	パン屋さんをつくる③	p.137
	パン屋さんをつくる④	p.139
	パン屋さんをつくる⑤	p.141
	パン屋さんをつくる⑥	p.143
持続可能な社会のための 支援策を提案しよう	パン屋さんを起業してみよう	p.144-145
	持続可能な社会のための支援策を提案しよう①	p.193
	持続可能な社会のための支援策を提案しよう②	p.195
	持続可能な社会のための支援策を提案しよう③	p.197
	持続可能な社会のための支援策を提案しよう④	p.199
	持続可能な社会のための支援策を提案しよう⑤	p.201
	持続可能な社会のための支援策を提案しよう⑥	p.203
	持続可能な社会のための支援策を提案しよう⑦	p.205
持続可能な社会のための支援策を提案しよう一まとめ	p.207	

※点数は特設ページ型・コラム型と重複